



一般社団法人「日本ヨーガ療法学会」では、  
6年前から ウクライナ キエフ市内を訪れ  
ボランティア活動かましてきました。  
(ヨーガ療法指導)



今回「子供用胃カメラ」を  
おくることになったのか？

ボランティア活動が本格化している  
ヨーガ療法士の古市先生に  
(兵庫県在中) きいてみました。



古市先生

なぜ胃カメラ検査が必要？  
胃潰瘍だからです。

胃潰瘍になる原因は？  
理由は分からないとされています。

小学1年生の子供までが、  
胃カメラ検査が必要なのです。

病院の医師たちはストレスが一つの原因と話して  
いました。戦争や周りの大人たちの不安を子供が敏感  
に感じ取っているなど。また戦争前から胃潰瘍で入  
院している子供たちも沢山いたとのことで、被ばく  
の影響により消化器系が弱いという人もいました。  
しかし原因はよくわからないというのが現状です。

キエフ市立第2小児病院の  
3児たち



## キエフの生活と 病院事情

ソビエト時代は、医療費は無料でした。しかし、ソビエト連邦  
が崩壊して、その後、1990年代の経済危機に見舞われて、ウク  
ライナ国は大変貧乏になっています。一般市民の月収は、  
15,000円位と言われています。国立病院の医師ですら給料だ  
けでは生活できないため、夜はタクシーの運転手のバイトをし  
て、しのいでいたりしていると聞きます。また、給料の遅配の  
ため、何か月も給料がないと医師が話していました。

そのような状況のため、病院の薬棚には殆ど薬品がなく、医  
療機器も旧式のもので、壊れて使い物にならないようなもの  
もあるそうです。その中で胃カメラも殆どだましまし使っ  
ている状況で、ファイバースコープの先端にある器具も壊れたた  
め、医師が何とか自作していました。チューブが太いため小さ  
な子供の食道を傷つけることもあり、何とか日本製の細いチュ  
ープのものを支援して欲しいと女医のザムラさんに6年程前か  
ら、毎回訪れるたびに言われていました。

しかし、日本での価格は1,000万円はしますので、簡単に支援  
できる金額ではないため、いつも話だけを聞いている状況で  
した。

ある時、ザムラ女医が  
「いつも、いつも、胃カメラ  
を支援して欲しいとばかり  
言って申し訳ないです。  
こんなことを聞くのは嫌で  
しょ。私も毎回、毎回、皆さ  
んをお願いすることが辛いん  
です。でも、国からの援助は期待  
できないし、予算もないし、子供たちのことを考えると、こうする  
しかないんです。」  
と言われました。



私立の病院に行けば、最新の医療機器があり、西側諸国と遜色  
のない医療を受けることが出来るそうですが、一般市民は医療  
費が高いため行くことが出来ないそうです。

昨年国際ヨガDayで、熊本支援のためのチャリティヨーガで  
は約400万円集まりました。2年経てば支援出来るぞということ  
になり、今回の話になりました。

チャリティヨーガで  
キエフの子供たちを  
胃カメラを！！

2017.2018年  
2年間にわたる  
支援プロジェクトです。

キエフ市立第2小児病院で  
ヨーガ療法指導の様子

